



# 関東天然瓦斯開発株式会社 決算説明会



第144期中間  
平成17年1月1日～6月30日  
平成17年8月31日開催

<http://www.gasukai.co.jp/>



・  
・  
・

# グループ事業運営の基本方針

グループの結束力のもとでそれぞれの事業を深耕し、拡大しよう。

## — 結束と深耕 —

(意義)全社員が次の共通認識のもとで、グループの事業運営をはかる。



- ①関東天然瓦斯開発が天然ガスを開発し、これを大多喜ガスが都市ガスとして供給する、一貫した天然ガス事業がグループの基盤であり、お互いが支えあって事業が継続、発展できること。
- ②ヨード事業は天然ガス事業と一体不可分のものであること。
- ③各関連事業は上記基幹事業のもとで、  
存続、発展できること。

# 各社の事業展開

前述した基本認識のもとで各社が法令を遵守し、競争力ある事業展開をはかる。

関東天然瓦斯 開発	環境面への対応を強化し、競争力ある天然ガスとヨードの開発・生産に全力で取り組むと共に、ヨード利用用途の拡大、誘導品の開発を目指す。大多喜ガスのガス量の増加・規制緩和に備えて、両社連携のもとでパイプラインの拡充等適時対応する。
大多喜ガス	規制緩和の流れの中で、他燃料や同業他社との競争が激化することを鑑み、積極的な営業活動により増収を図ると共に経営効率化、業務改善等により経営基盤を強化する。
関東建設	グループの信頼される工事会社として、工事の質的向上を目指す。大多喜ガスの供給エリアをベースとして外部受注の拡大を図る。
オータキ産業	同業他社や他燃料に対抗するため企業体質を強化すると共に、大多喜ガスとの連携を密にして、大多喜ガスエリア及びその周辺へのLPG拡販を図る。
テクノアース	地質汚染事業を柱として、外部受注拡大を図ると共に、グループの支援のもとで新たな技術開発に挑戦し、「技術で生きるテクノアース」を目指す。
房総コンピュータ サービス	グループ各社に適切な提案と指導ができるように、スキルアップを図る。グループ内の仕事を優先し、低価格で提供する。
開発興産	グループ内の受託業務の確実な遂行と更なるサービスの充実を図る。リース事業の外部拡販をはかり、安定的収益の確保を目指す

●  
●  
●

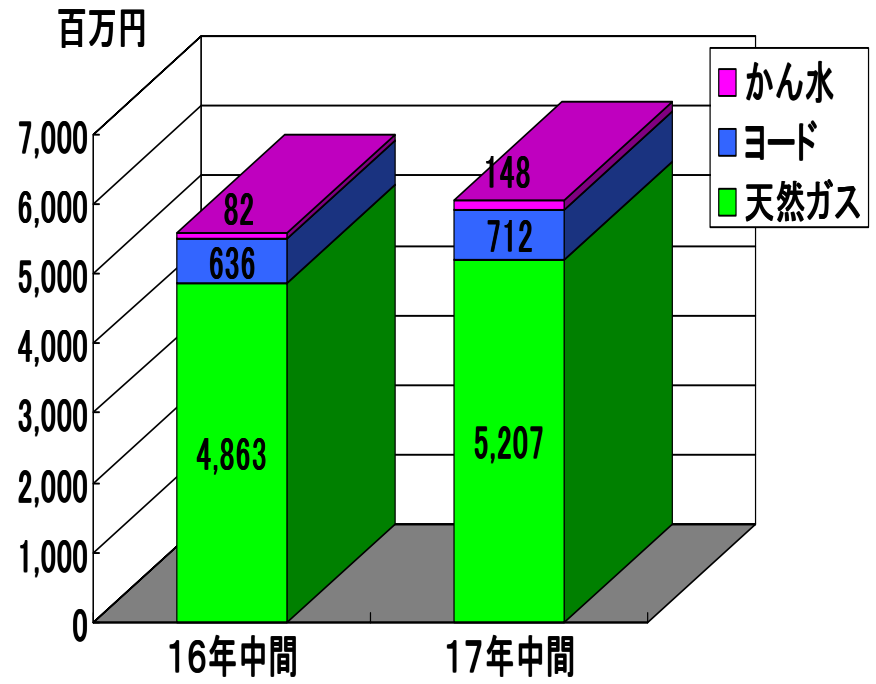
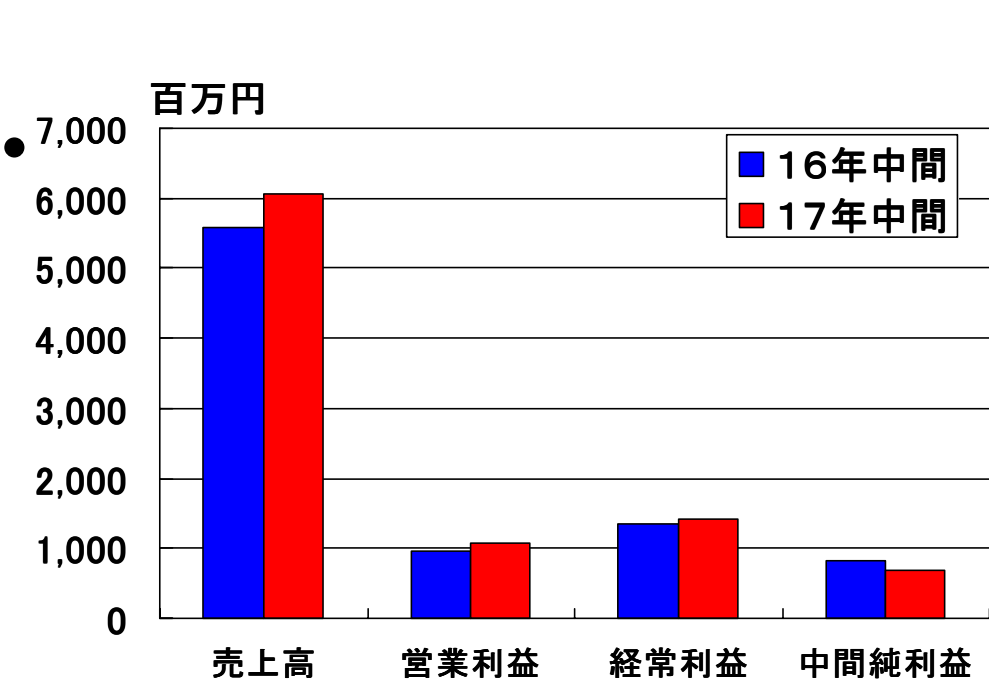
# 事業展開

セグメント	関東天然瓦斯開発	大多喜ガス	オータキ産業	関東建設	テクノアース	房総 コンピューター サービス	関発興産
ガス販売部門	天然ガス	都市ガス	圧縮ガスLPG				
ヨード部門	ヨード かん水						
建設・地質部門		ガス工事	ガス工事	土木建設	さく井工事 地質汚染		
サービス・器具販売部門		器具	器具			システム オペレーション 開発	リース 保険代理 他

● ● ● ● ● ● ● ● ●

- 
- 
- 

# 平成17年中間決算 《単体》

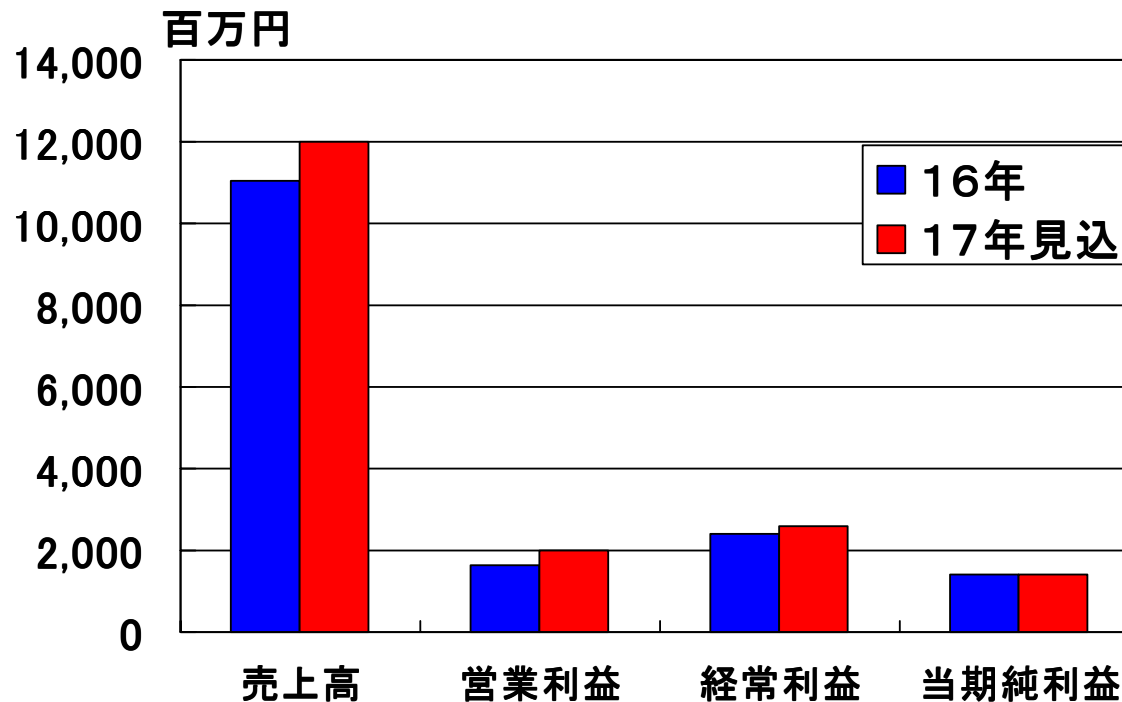


単位：百万円

	売上高	(天然ガス)	(ヨード)	(かん水)	営業利益	経常利益	中間純利益
16年中間	5,582	4,863	636	82	971	1,349	827
17年中間	6,068	5,207	712	148	1,069	1,422	689
対前年比(%)	8.7	7.1	11.9	80.4	10.1	5.4	△ 16.7
年初見込	5,900	5,150	600	150	900	1,200	700

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

# 平成17年収支見込概要《単体》



**年初見込からの変動**  
 売上高→3 億円増加  
 ・ガスは販売数量増  
 ・コードは輸出価格上昇  
     + 為替円安  
     通期見込 100 円/\$  
     → 上期実績 105 円/\$  
     → 下期見込 105 円/\$

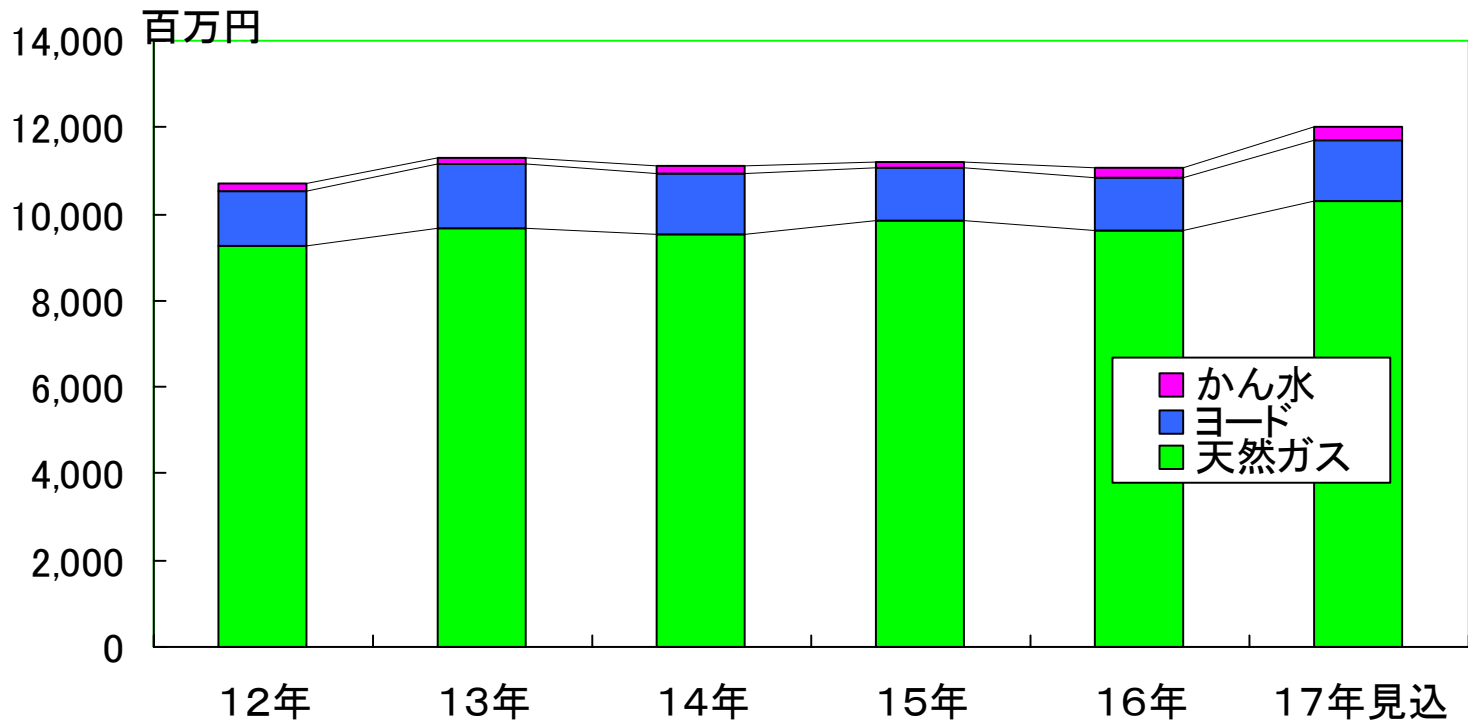
当期純利益→1 億円減少  
 ・特別損益で 4.5 億円減少  
 減損会計早期適用  
 ゴルフ会員権評価損

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年	11,055	1,643	2,411	1,397
17年見込	12,000	2,000	2,600	1,400
対前年比(%)	8.5	21.7	7.8	0.2
年初見込	11,700	1,800	2,400	1,500

- 
- 
- 

# 売上高の推移 《単体》



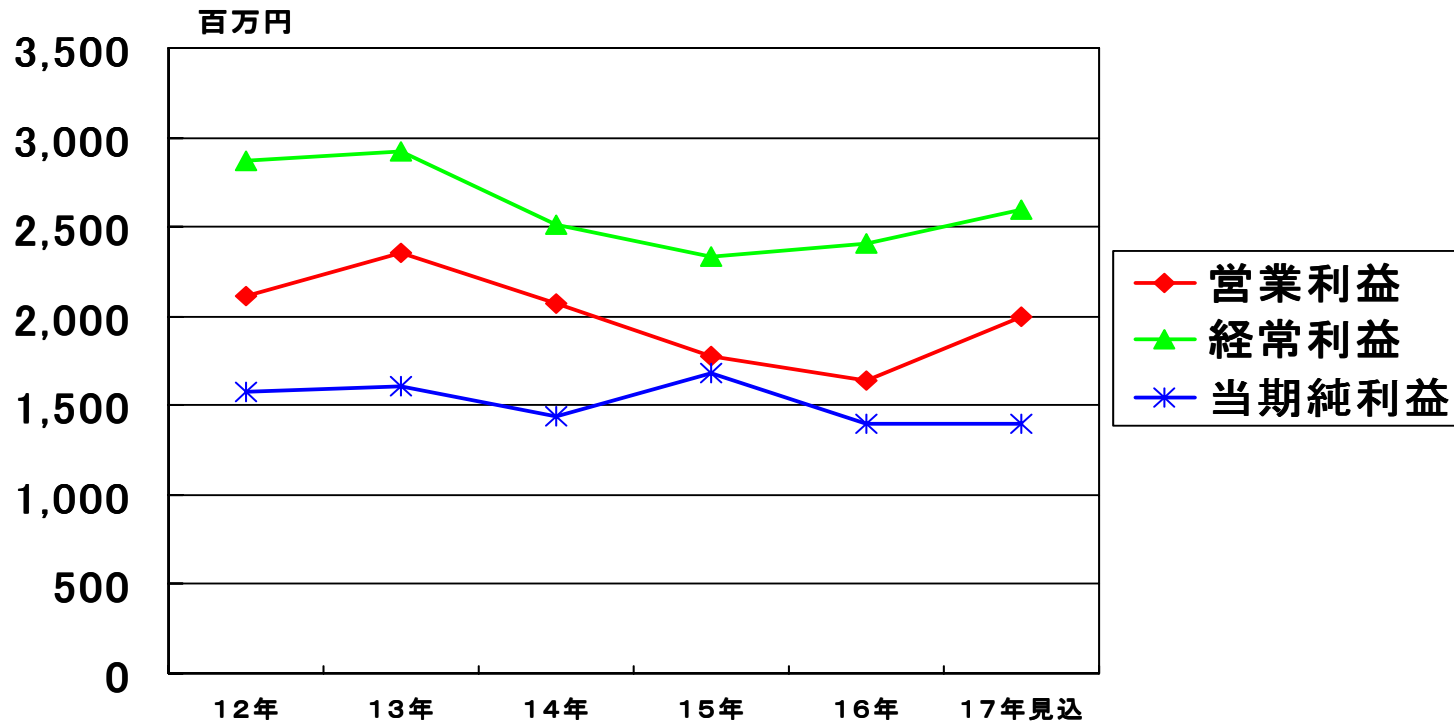
単位：百万円

区 分	第139期 12年	第140期 13年	第141期 14年	第142期 15年	第143期 16年	第144期 17年見込
売上高	10,684	11,297	11,099	11,221	11,055	12,000
天然ガス	9,253	9,679	9,514	9,854	9,629	10,300
ヨード	1,259	1,456	1,427	1,215	1,223	1,400
かん水	170	160	157	152	202	300

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

- 
- 
- 

# 利益の推移 《単体》

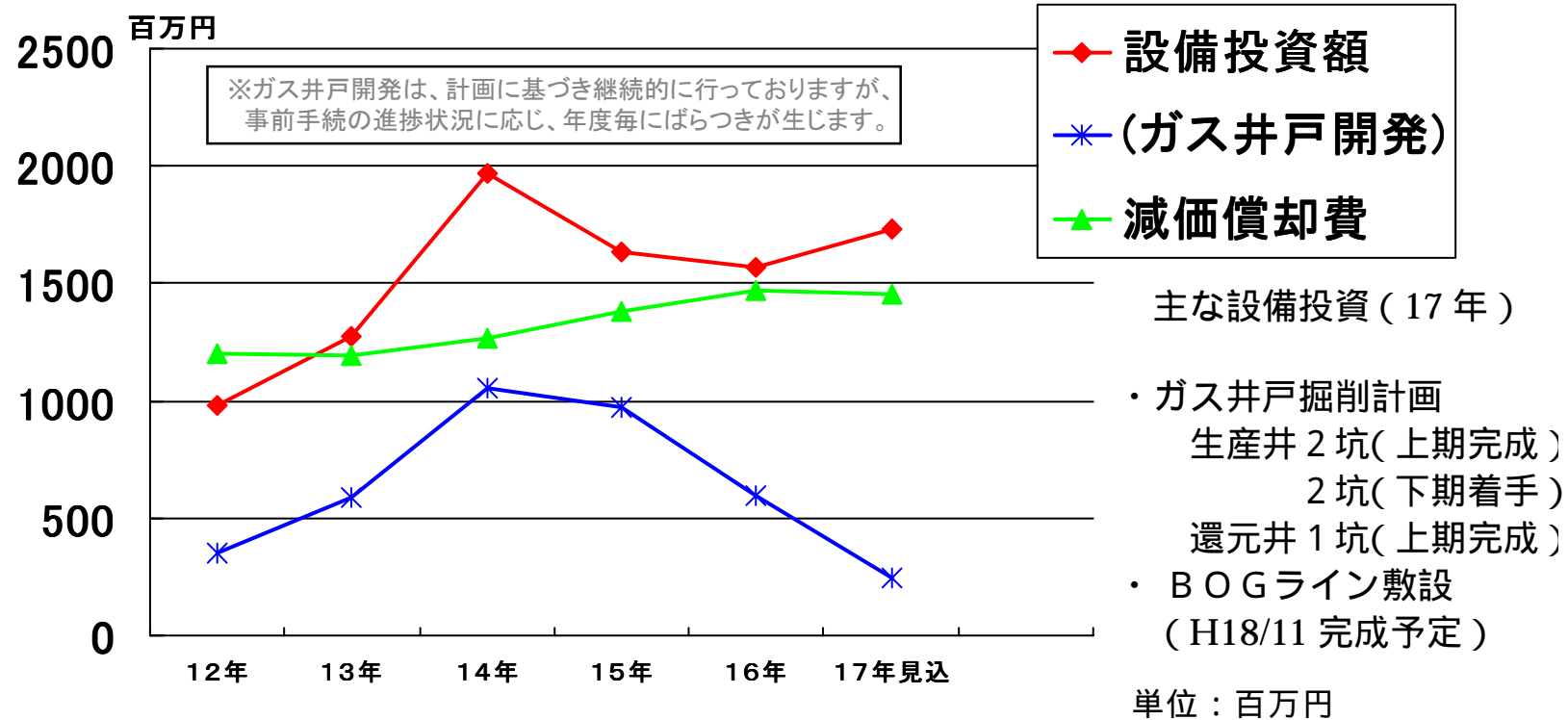


単位：百万円

区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
営業利益	2,108	2,350	2,069	1,773	1,643	2,000
経常利益	2,872	2,927	2,508	2,330	2,411	2,600
当期純利益	1,572	1,607	1,438	1,679	1,397	1,400

- 
- 
- 

# 設備投資・減価償却費の推移 ‹‹ 単体 ››



区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
設備投資額	984	1,273	1,969	1,632	1,569	1,735
(ガス井戸開発)	353	590	1,052	974	597	247
減価償却費	1,200	1,189	1,267	1,382	1,471	1,455



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

- 
- 
- 

# 生産量、販売量の推移

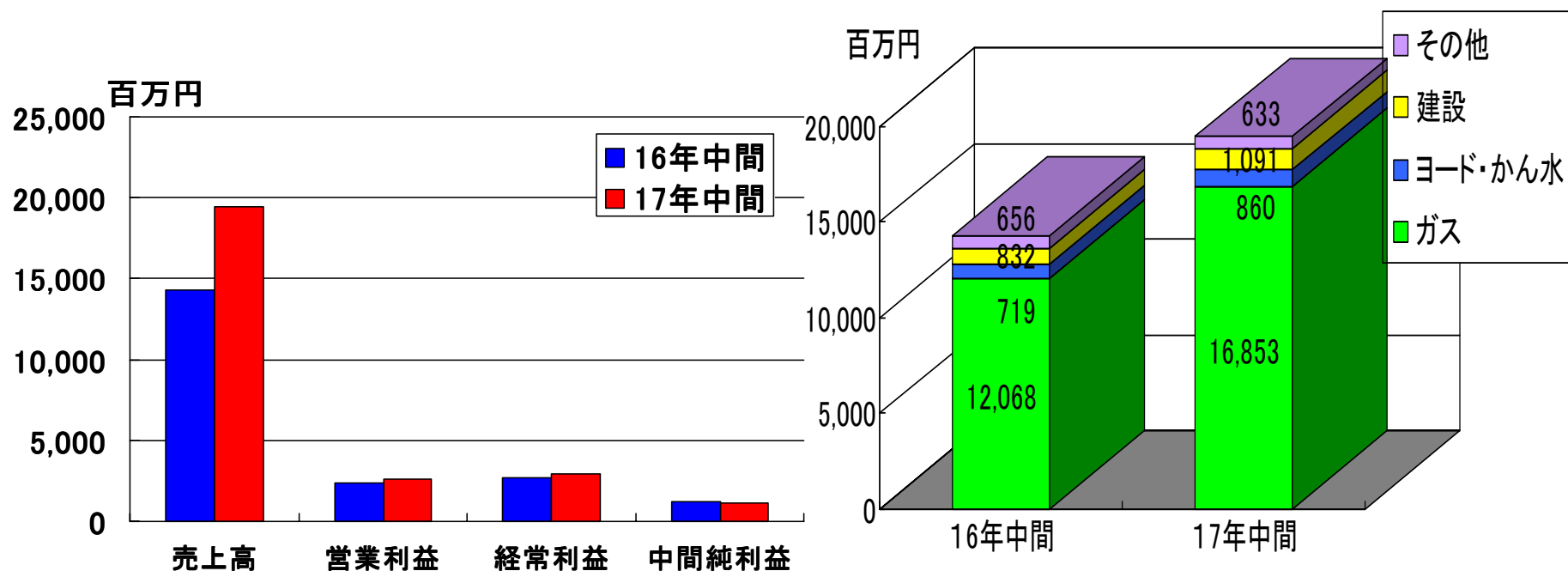
区 分		第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	
		13年	14年	15年	16年	17年中間	17年見込
天然ガス	生産量(千m <sup>3</sup> )	172,719	169,634	172,624	172,244	91,148	181,000
	販売量(千m <sup>3</sup> )	266,102	276,001	280,437	277,860	146,959	291,000
ヨード	生産量(t)	779	757	743	630	208	400
	販売量(t)	985	1,008	934	896	494	940
かん水	生産量(千kl)	15,603	15,450	15,241	15,654	8,298	16,500
	販売量(千kl)	6,522	6,437	6,246	8,059	5,631	11,000

天然ガスは、38.5MJ / m<sup>3</sup>換算



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

# 平成17年中間決算 《連結》



単位：百万円

	売上高	(ガ ス)	(ヨード・かん水)	(建 設)	(その他)	営業利益	経常利益	中間純利益
16年中間	14,276	12,068	719	832	656	2,357	2,659	1,246
17年中間	19,439	16,853	860	1,091	633	2,605	2,928	1,130
対前年比(%)	36.2	39.6	19.7	31.1	△ 3.5	10.5	10.1	△ 9.3
年初見込	18,400	16,100	750	950	600	2,100	2,300	1,000

•  
•  
•

# セグメント別売上高(対前中間期)

## セグメント別売上高

単位：百万円

	16年中間	17年中間	比較増減	16年
ガス	12,068	16,853	4,784	24,868
ヨード・かん水	719	860	141	1,426
建設	832	1,091	259	1,676
その他	656	633	△ 22	1,409
合計	14,276	19,439	5,163	29,381

### 主な変動要因

- ガス事業 売上大幅増
  - ・大口ガス事業者向け販売の本格化
  - ・新たな大口工業用需要家への供給開始（前年同期以降）
- ヨード・かん水事業 売上増
  - ・海外市況回復
  - 輸出向け販売量増
  - 販売価格上昇
  - ・為替円高
    - 107 円 / \$（前年同期）
    - 105 円 / \$（上期実績）
- 建設事業 売上増
  - ・受注獲得努力
- その他事業
  - ・集合住宅向けガス器具販売減



# 中間損益計算書内訳《連結》

単位：百万円

	16年中間	17年中間	増減額	16年
売上高	14,276	19,439	5,163	29,381
売上原価	8,258	13,160	4,902	19,103
販管費	3,661	3,674	12	7,406
営業利益	2,357	2,605	248	2,871
営業外収益	361	381	19	768
営業外費用	59	58	△ 1	108
経常利益	2,659	2,928	269	3,530
特別利益	47	—	△ 47	47
特別損失	71	407	336	220
税引前利益	2,634	2,520	△ 113	3,357
法人税等	1,018	989	△ 28	1,308
少数株主利益	368	399	31	315
中間純利益	1,246	1,130	△ 116	1,732

## 売上高

大口向けのガス販売本格化  
大口工業用需要家向けの販売開始  
大幅な売上増

## 営業利益

売上増の大半は家庭用等に  
比べ安価な大口向け  
売上の割に利益は伸びず

## 中間純利益

固定資産の減損会計早期  
適用により、減益に

# 中間貸借対照表内訳《連結》

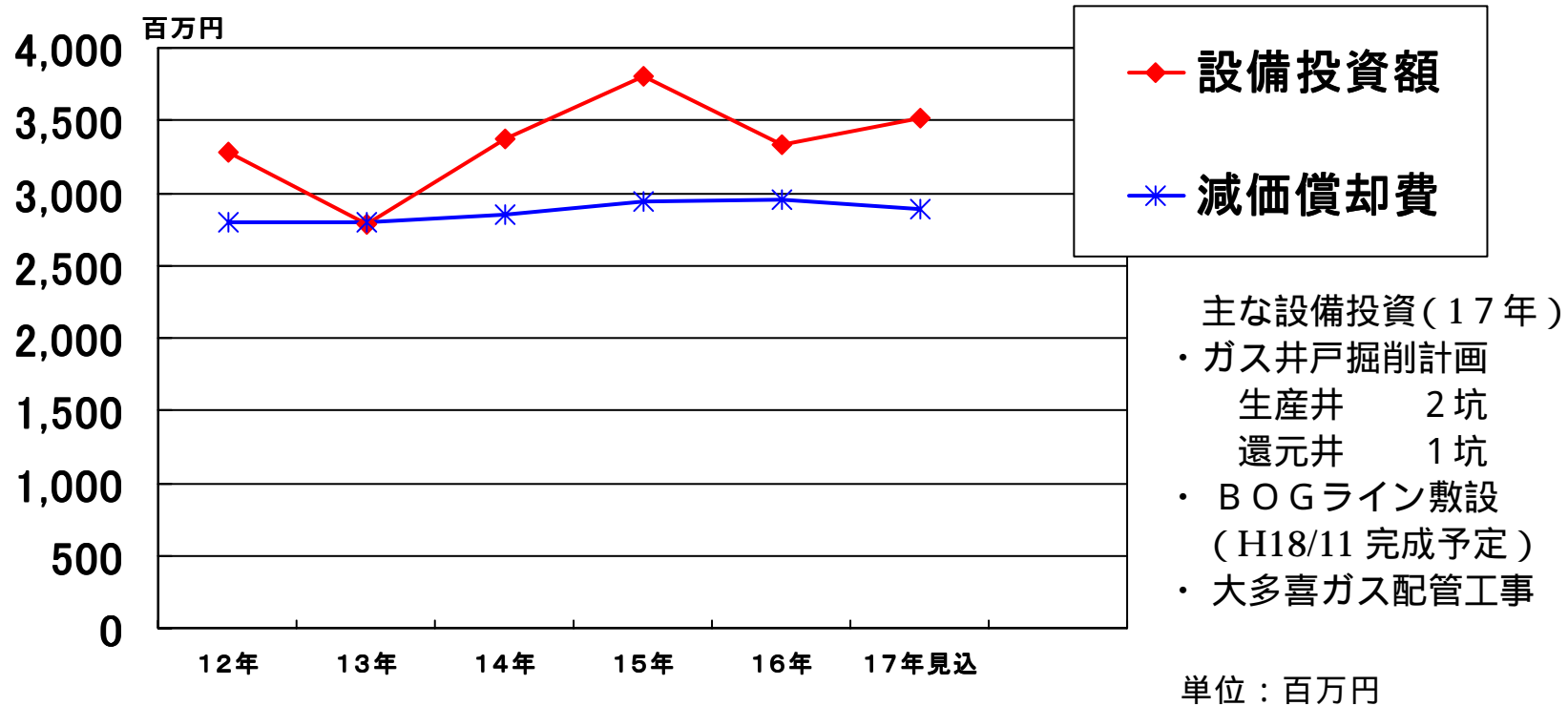
- ・現預金の増 ……営業キャッシュフローの手元保管
- ・投資有価証券の増……主に債券の購入と評価差益の計上
- ・買掛金／未払金の減……季節的な変動、および建設未払金の減少

単位：百万円

	16年12月	17年6月	増減額		16年12月	17年6月	増減額
<b>流動資産</b>	<b>22,617</b>	<b>23,863</b>	<b>1,245</b>	<b>流動負債</b>	<b>7,683</b>	<b>7,552</b>	<b>△ 131</b>
現預金	2,706	4,036	1,330	買掛金・未払金	4,086	3,209	△ 876
有価証券	14,984	14,787	△ 196	その他	3,597	4,342	745
その他	4,927	5,039	112				
				<b>固定負債</b>	<b>6,613</b>	<b>6,599</b>	<b>△ 14</b>
<b>固定資産</b>	<b>48,167</b>	<b>48,537</b>	<b>370</b>	長期借入金	1,562	1,440	△ 121
有形固定資産	24,761	23,812	△ 949	繰延税金負債	1,714	1,935	220
（建物及び構築物）	4,779	4,530	△ 248	退職給付引当金	3,065	2,931	△ 134
（機械装置他）	12,629	12,290	△ 338	その他	271	292	21
（その他）	7,352	6,990	△ 362	<b>負債合計</b>	<b>14,297</b>	<b>14,152</b>	<b>△ 145</b>
				少数株主持分	<b>6,277</b>	<b>6,646</b>	<b>368</b>
無形固定資産	784	765	△ 19				
				資本金	7,902	7,902	0
投資その他の資産	22,620	23,960	1,339	資本剰余金	8,260	8,260	0
（投資有価証券）	19,256	21,073	1,816	利益剰余金	32,826	33,702	876
（その他）	3,364	2,887	△ 477	その他有価証券評価差額金	1,460	1,985	524
				自己株式	△ 240	△ 247	△ 6
				<b>資本合計</b>	<b>50,209</b>	<b>51,602</b>	<b>1,393</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>70,784</b>	<b>72,401</b>	<b>1,616</b>	<b>負債・少株・資本の部合計</b>	<b>70,784</b>	<b>72,401</b>	<b>1,616</b>

- 
- 
- 

# 設備投資・減価償却費の推移 ‹‹連結››



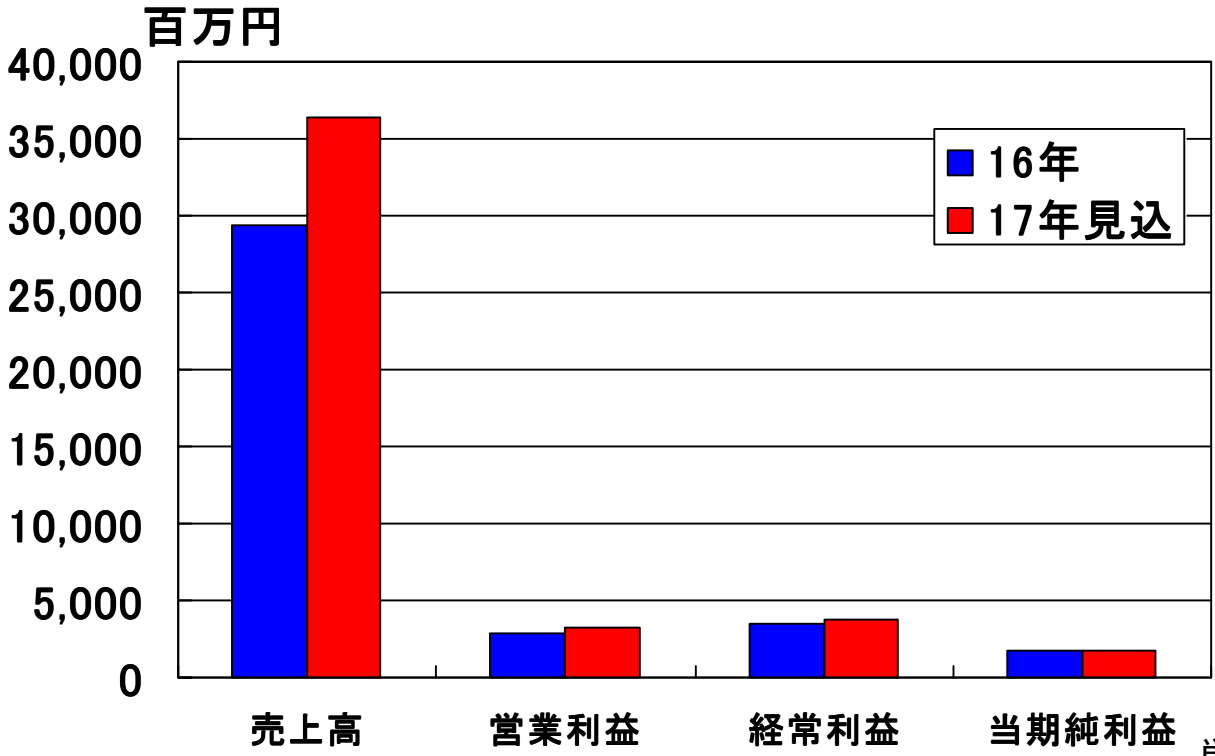
区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年見込
設備投資額	3,282	2,782	3,368	3,800	3,335	3,517
減価償却費	2,800	2,796	2,850	2,941	2,959	2,891



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

•  
•  
•

# 平成17年収支見込概要《連結》



### 年初見込からの変動

- 上期における、前年比低気温によるガス販売量の増加
- 大口向けのLNG販売量増加
- ヨードの輸出価格上昇
- 特別損益の影響(減損会計早期適用)で当期純利益は年初見込と同じに

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年	29,381	2,871	3,530	1,732
17年見込	36,400	3,300	3,800	1,800
対前年比(%)	23.9	14.9	7.6	3.9
年初見込	34,900	3,100	3,500	1,800

• • • • • • • •

•  
•  
•

# セグメント別売上予想(対前期)

## セグメント別売上高

主な要因

単位：百万円

	16年	17年見込	比較増減
ガス	24,868	31,500	6,632
ヨード・かん水	1,426	1,700	274
建設	1,676	1,850	174
その他	1,409	1,350	△ 59
合計	29,381	36,400	7,019

ガス事業

大口需要の大幅な増加

ヨード事業

海外市況回復

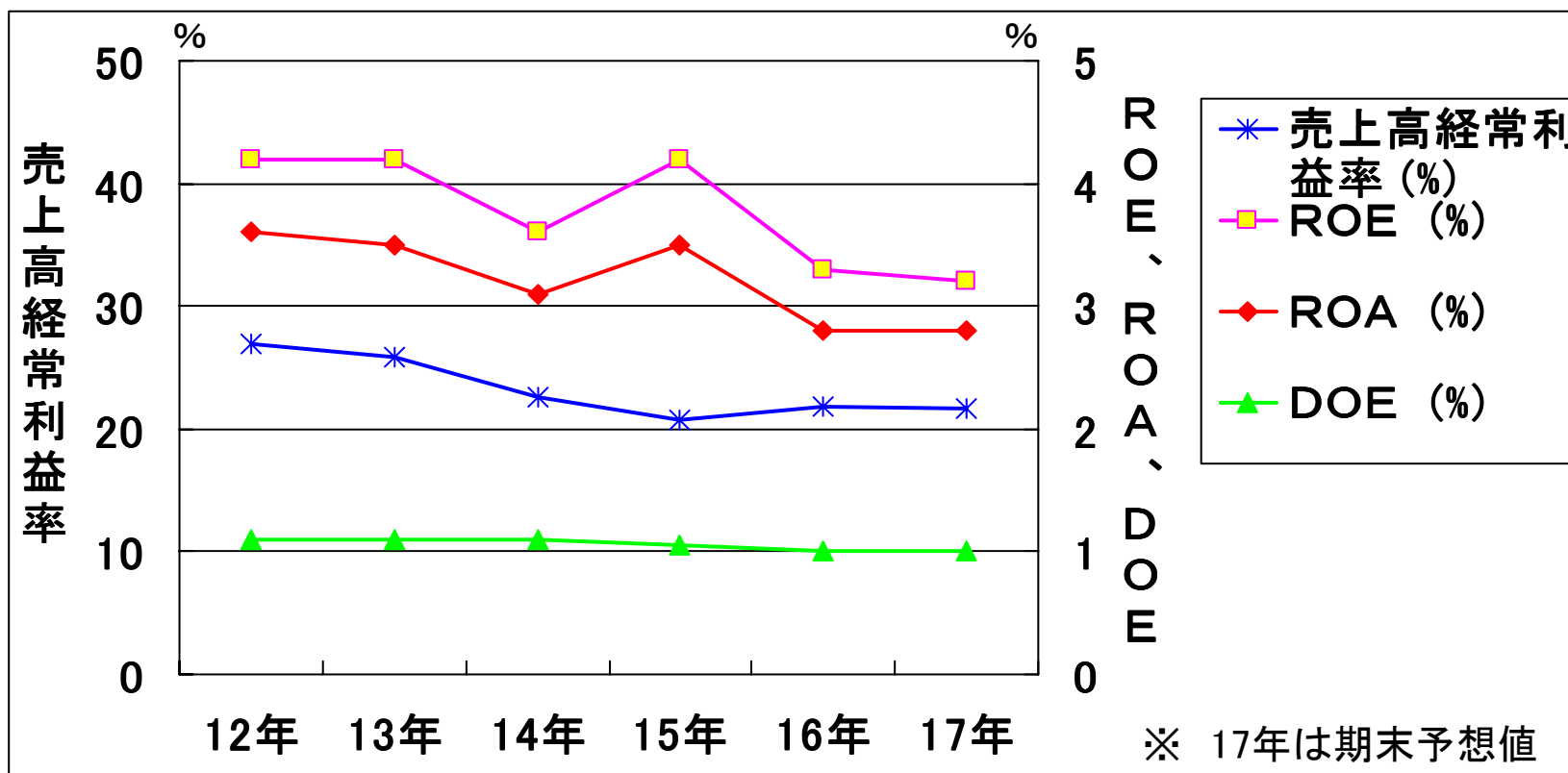
建設事業

受注環境は依然厳しい

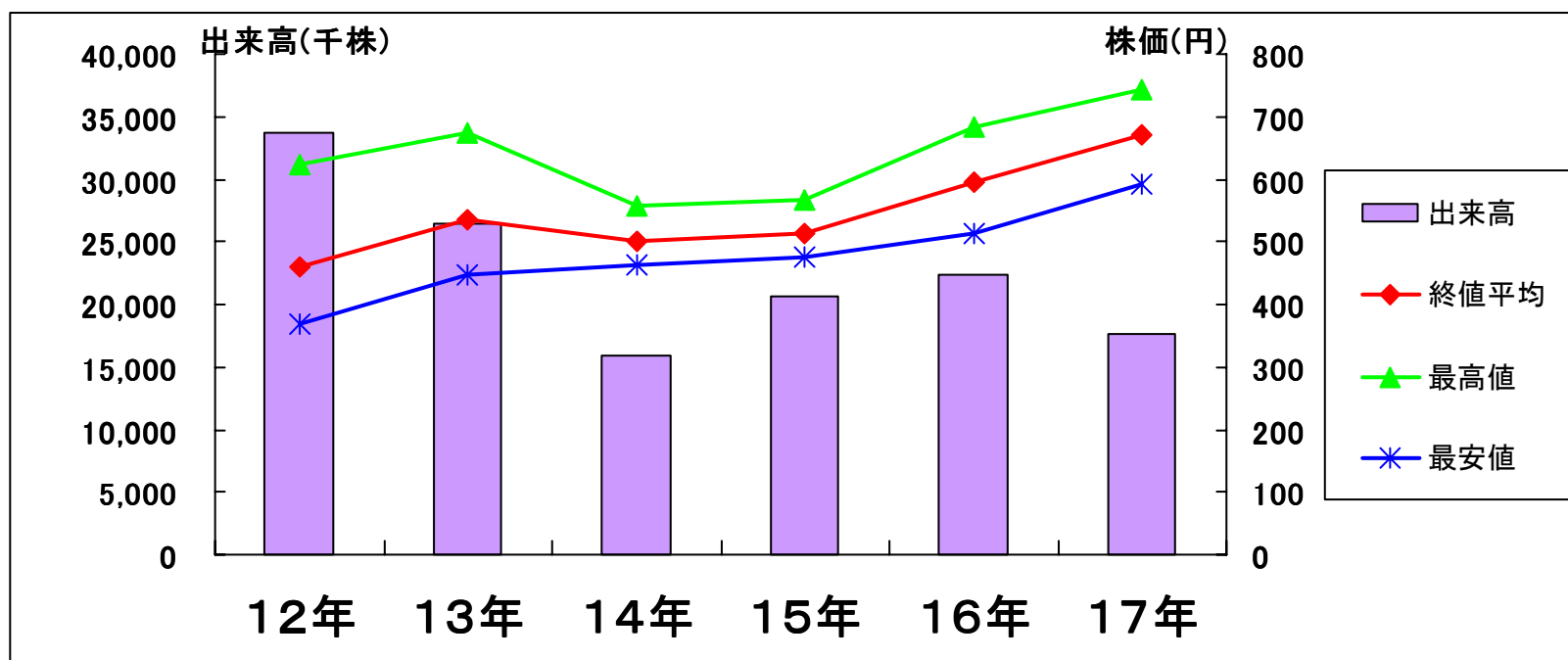
その他の事業

集合住宅向けガス器具  
販売減

# ROE、ROA《単体》



# 株価及び出来高の推移



	12年	13年	14年	15年	16年	17年中間
最高値	625	674	556	567	684	(4/5) 744
最安値	368	447	464	476	513	(1/21) 591
終値平均	460	535	502	513	594	671
出来高	33,696	26,478	15,861	20,698	22,301	17,663

# トピックス

## BOG(ボイルオフガス)導入

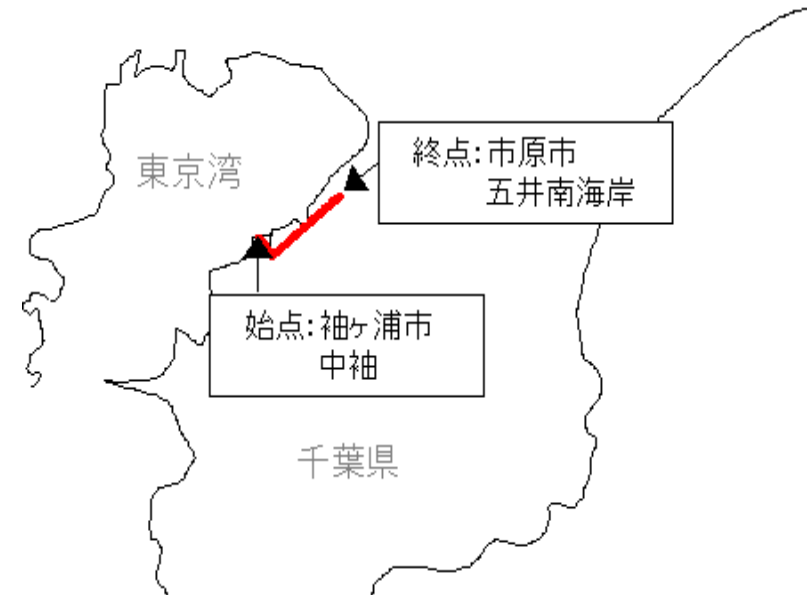
- ・購入先 : 東京電力(株)、東京ガス(株)
- ・受入量 : 最大日量48万m<sup>3</sup>
- ・時期 : 平成18年12月～
- ・設備投資 : 受入パイプライン  
千葉県袖ヶ浦市～市原市  
(口径400mm、延長約14km)
- ・建設費 : 約27億円(自己資金で充当)

### 〔特長〕

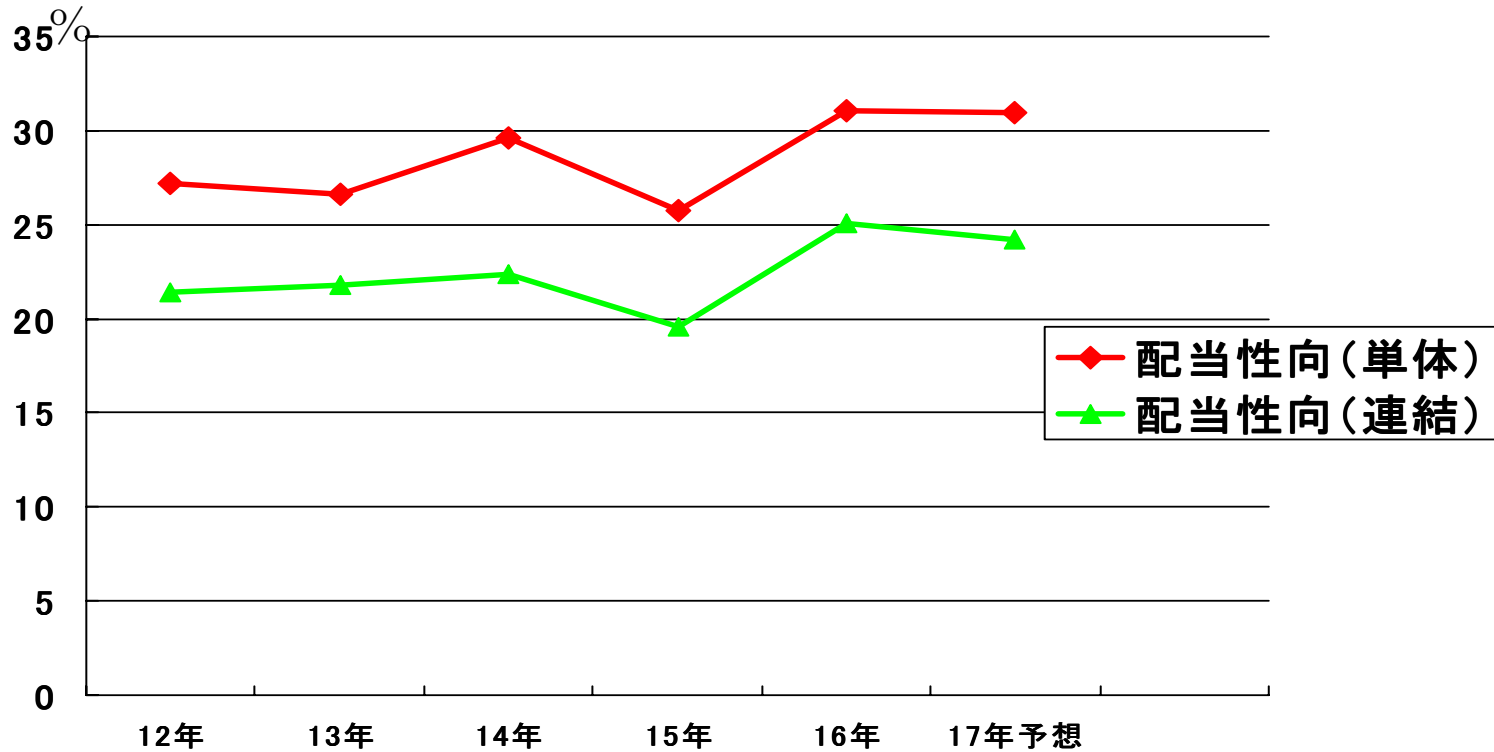
- ・千葉県産天然ガスとほぼ同様の性状(=12Aガス)
- ・需要の変動に応じて供給を受けられる利点
- ・48万m<sup>3</sup> / 日 ≒ 1.8億m<sup>3</sup> / 年 ≒ 当社の年間生産量

### 〔効果〕

- ・将来の都市ガス需要の増加に対し、更なる安定供給を実現
- ・新規大口需要にも、これまで以上に積極的な対応が可能に



# 配当性向の推移



区 分	第139期	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期
	12年	13年	14年	15年	16年	17年予想
1株当たり純利益(単体)	25.77	26.35	23.67	27.24	22.58	22.63
1株当たり純利益(連結)	32.72	32.06	31.24	35.78	27.91	28.91
1株当たり配当	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
配当性向(単体)	27.16	26.57	29.57	25.70	31.00	30.93
配当性向(連結)	21.39	21.83	22.41	19.56	25.08	24.21